

1. 山梨県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	808,585,970	
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	608,585,970
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	6,852,538	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	6,852,538	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	808,585,970	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	608,585,970
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

	次年度の基金類型	運用型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金運用益 (次年度見込額)		6,852,538	
⑨	事業費 (次年度見込額)		6,852,538	
⑩	保有割合		1.000	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	やまなし環境月間事業	414,320		414,320		882,769	6,179,383
2	環境保全活動支援事業費補助金事業	3,105,000		3,105,000		5,226,769	36,587,383
3	ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン事業	0		0		0	0
4	やまなしクリーンキャンペーン推進事業	476,600		476,600		0	0
5	桂川・相模川流域協議会経費負担金	607,500		607,500		608,000	4,256,000
6	環境パートナーシップやまなし負担金	135,000		135,000		135,000	945,000
7	(県独自事業へ充当)	2,114,118		2,114,118			
8		0					
9		0					
10		0					
11		0					
12		0					
13		0					
14		0					
15		0					
合 計		6,852,538	0	6,852,538		6,852,538	47,967,766

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に係る功績者の表彰者数：30人 (累計：2018年～2027年) 第2次山梨県環境基本計画の基本目標である「県民の環で守り、創り、未来へ繋げる豊かな環境」を実現するためには、多様な主体による全県的な実践活動が展開され、これらの取組が定着することが重要である。	
	成果実績	11人
	目標値	30人
	達成度	37%

令和2年度 事業報告書

事業名	やまなし環境月間事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成3年度
担当部署	自然共生推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

県民の環境保全への意識の高揚と県内全域で環境保全に関する実践活動が日常的に行われることを目的とする。

目標値：環境保全功績者表彰者数30人（累計：平成30～令和9年度）

2. 概要

やまなし環境月間を通じて、県民、事業者、民間団体、行政等が連携し、環境保全に資する各種行事を開催する。

3. 根拠法令等

環境基本法
やまなし環境月間実施要領

4. 実施内容等

- ・「環境フォーラムinやまなし」の開催
開催日：令和2年11月1日 参加人数50人
環境保全功績者表彰 2団体を表彰
基調講演 山梨大学大学院教授 金子栄廣氏
講演 コカ・コーラボトラーズジャパン 丸山竜一郎氏
講演 アルピニスト 野口健氏
パネルディスカッション 金子栄廣氏、丸山竜一郎氏、野口健氏、山内剛氏（京都府亀岡市職員）
- ・新聞広告1回

令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全重点課題対策事業費補助金	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成19年度
担当部署	環境・エネルギー政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

本県の豊かで良好な自然環境を保全するため、新たな環境課題に対応する取り組みに対し助成する。

目標値：交付先90団体（累計：平成30～令和9年度）

2. 概要

市町村や公共的団体等が地域住民と一体となって実施するプラスチックごみ対策、ごみの減量化・リサイクル推進、地球温暖化対策及び環境教育推進に関する環境保全事業に対して支援を行う。

3. 根拠法令等

環境保全重点課題対策事業費補助金交付要綱

4. 実施内容等

交付先：11団体
総支給金額：3,105千円
補助対象内容：緑のカーテン講座、環境講座の開催 等

令和2年度 事業報告書

事業名	ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成12年度
担当部署	環境整備課	終了年度	令和2年度

1. 目的及び目標（値）

ごみ減量とリサイクル推進に関する意識の醸成を図ることを目的とする。

目標値：リーフレット配布数4万枚（累計：平成30～令和9年度）

2. 概要

県内全域において、県民、事業者、民間団体、行政等が連携し、県民や観光客等に啓発物品（リーフレット、花の種等）を配布し、ごみの減量とリサイクルの促進を呼びかける。

3. 根拠法令等

ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン実施要綱
山梨県空き缶等の散乱防止に関する条例

4. 実施内容等

令和2年度は新型コロナウイルスにより中止のため、実績なし。

令和2年度 事業報告書

事業名	やまなしクリーンキャンペーン推進事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成8年度
担当部署	環境整備課	終了年度	令和2年度

1. 目的及び目標（値）

県内全域で環境保全に関する実践活動が日常的に行われることを目的とする。
目標値：参加人数延べ500万人（累計：平成30～令和9年度）

2. 概要

子どもから高齢者までの県民参加による環境美化のための一斉活動日を設定し、県内一斉クリーンキャンペーンを展開する。

3. 根拠法令等

やまなしクリーンキャンペーン実施要綱
やまなしクリーンキャンペーン実施要領

4. 実施内容等

一斉活動日：年6回 奇数月の30日
参加人数：延べ83,733人
活動内容：ごみ・空き缶等の清掃活動、植花・植樹活動など
普及啓発：ポスター（1,200枚）・チラシ（3,000枚）の作成、配布
新聞広告の掲載 1回

令和2年度 事業報告書

事業名	桂川・相模川流域協議会経費負担金	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成3年度
担当部署	自然共生推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

桂川・相模川の流域環境保全を図り、持続可能な発展を基調にした環境保全型社会を築いていくことを目的とする。

目標値：クリーンキャンペーン実施箇所数300箇所（累計：平成30～令和9年度）

2. 概要

平成7年度から9年度までの3箇年、山梨県と神奈川県に跨る桂川・相模川流域における地元住民、事業者、民間団体、行政等の主体的な参画を得て「桂川・相模川流域環境保全行動推進事業」を実施し、その成果として、桂川・相模川流域協議会を設立、行動計画「アジェンダ21桂川・相模川」を策定した。
桂川・相模川流域における地元住民、事業者、民間団体、行政等が連携し、流域一斉クリーンキャンペーンなど流域環境保全に資する各種事業を実施する。

3. 根拠法令等

行動計画「アジェンダ21桂川・相模川」

4. 実施内容等

桂川・相模川の流域の行動計画である「アジェンダ21桂川・相模川」を推進する。
①流域一斉クリーンキャンペーン：19箇所（コロナ禍のため例年より回数減）
②上下流交流事業：コロナ禍のため中止
③流域シンポジウム：令和2年10月25日（山梨県富士山科学研究所からオンライン配信）

令和2年度 事業報告書

事業名	環境パートナーシップやまなし負担金	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	自然共生推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

環境保全活動にかかる個人、団体、企業のネットワークづくり及び地域に根ざした活動団体の育成を図り、継続的かつ着実な環境保全活動の推進を図ることを目的とする。

目標値：応募作品数6,000作品（累計：平成30～令和9年度）

2. 概要

環境省の「環境パートナーシッププラザ」が開設されたことに伴い、県からの呼びかけで、県民、事業者、民間団体、行政等が参加する「環境パートナーシップやまなし」が設立された。環境保全活動を体系的・広域的に推進していくため、県民、事業者、民間団体、行政等が連携し、環境保全活動に取り組む。

3. 根拠法令等

環境パートナーシップやまなし会則

4. 実施内容等

- ・エコライフお絵かき・川柳コンテストの実施
応募作品数 お絵かき：175作品 川柳：217作品